

選択領域講座概要

実施日		講座名	講師	概要	注意事項	その他、特記事項など
8月8日	①	身体表現指導法	君野貴弘	この講座では、幼児に運動遊びを通して体をコントロールする能力の向上や自分の体を自由に動かせるようにするコーディネーション能力の向上、足が速くなるコツの3つを、運動実技を通して学びます。内容は子ども達（幼児達）が楽しく充実した活動（運動）を通して確実に体を自由に動かすことができる運動プログラムやコーディネーション能力を高められる実践的かつ実用的なものです。	実技を体育館で実施します。体育館シューズをご持参ください。暑いことが予想されます、スポーツドリンクなど水分補給ができるようにご準備ください。	
		健康	渡部琢也	改訂された幼稚園教育要領の中の領域「健康」に関わる内容について、特に改訂されたポイントを中心に解説し、理解を深める。幼稚園教育要領以外の部分については、こどもの発育について、これまでの考え方を解説し、加えて最新のデータを用いてさらに理解を深める。また、食育について本学科での実践例を交えて理解を深め、そして他国での幼児教育に関する取り組みについてもふれる。		
8月19日	②	特別なニーズ教育	市川和彦	本講座では主に発達障害のある子どもたちに対して、ダンスを通して自己の身体をコントロールする能力や、感覚、感情を動員させながらリズム取り、身体を動かして楽しむことの療育的意味、その現場ですぐに役立つ指導法について学ぶ。また、何よりも保育者とこどもがダンスを通して楽しさを共有することで自己肯定感を獲得し、保育者・こどもがともに成長・発達することの大切さについて実技を通して学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技を中心に行うので動きやすい服装、シューズを持参。 ・汗をかくのでペットボトルの水、お茶、タオル、着替えを持参。 ・妊娠中であったり腰痛のある場合などは事前に講師に相談してほしい。 	
		表現指導法・音楽	河原田潤	保育現場で使用されている楽器の取り扱い方と演奏法を確認し、音を出す楽しみを味わいましょう。また、合奏することによりコミュニケーションを図り、音の交わりを楽しみましょう。		「鍵盤ハーモニカ」を使用しますので、受講者でお持ちの方は持参してください。お持ちでない場合はこちらで貸し出します。

8月20日	③	環境・造形表現指導法	葉山亮三	身近な環境、素材を活用して、子どもたちはどう遊び、どう学ぶか。講義演習を通してイメージーションの成り立ちについて体験し理解を深めます。また造形表現についてはこれまでの指導法から、今日的な指導法の転換を学び、実践することで、子どもの育みを考えます。		
8月8日	④	人間関係	吉田亜矢	新教育要領参照のうえ、受講者が担任する子どもの姿をもとに、現代における子どもたちの人間関係の育ちの姿の傾向、課題を検討し、自らの保育について考察する。		受講者には今年度担任している子どもの姿(とくに人間関係を中心に)をまとめてくることを課題としたい。
		児童福祉	鈴木勲	学校教職員には、児童虐待の早期発見に努める義務が規定されている。また、被虐待児に対しては、要保護児童対策地域連絡会を組織、活用してネットワークにより援助を進めて行くことが望まれている。虐待によって傷つけられた子どもたちには、専門的な養育のほか、あたたかで一貫した援助の継続と支援を行っていくことが必要とされることから、その援助のあり方の基本について講義を行う。		
8月19日	⑤	言葉	五十嵐啓太	本講座では、絵本に特有の言葉の特徴を知り、絵本についての理解を深めることを目的とします。特に、絵本の世界を効果的に伝えるために用いている絵本作家の技法について、教材研究のヒントとなるよう、実際の絵本の分析を通して学んでいきます。	可能な方は、絵本を1冊持参してください。	
		食育指導法	鈴木秀子	子どもの発育・発達過程に応じた食育は、子どもたちの心身の健全育成、豊かな人間性の形成に大きな意味がある。 そこで、発育・発達過程に応じた食育の理論を学び、事例を通して、子どもたちと一緒に「食」に関わることを楽しみ合いながら、生活の中で行う食育や行事を活用した食育の計画や実践方法について考える。		

8月20日	⑥	教育相談	木村淳也	幼稚園やこども園、あるいは保育所でお仕事をされている中で、カウンセリングやカウンセラーという言葉は比較的よく聞かれるようになりましたが、ソーシャルワークやソーシャルワーカーという言葉は、いまひとつ馴染みがないかもしれません。しかし、子どもを取り巻く環境の変化に伴い、教育の場における福祉援助の重要性はますます高まりを見せています。すでに教育と福祉の連携は、子どもの育ちに欠くことのできない重要な要素の一つになっているといえるでしょう。本講座では、教育の場で展開されるスクールソーシャルワーク（ワーカー）の仕組みについて福島県の例を参考に学びます。		
		国際理解教育	若林達司	学習指導要領の改訂により、小学校において、中学年で「外国語活動」を、高学年で「外国語科」が導入されます。2020年には東京オリンピックが開催され、これを機会に日本がますます「国際化」社会の色合いを強めてゆくことが予想されます。そこで、世界に目を向けたとき、世界がどのような「国際化」に直面し、どのような課題を抱えているのかを知ることが手掛かりにし、子どもの教育場面でそれをどのように活かすことができるのかを探ります。		